

TA1050-EL2W（セルスタータ仕様）取扱説明書

このたびはクボタ製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この取扱説明書は**TA1050-EL2W セルスタータ仕様機**について、リコイルスタータ仕様機と特に異なる取扱い方法についてのみ説明してあります。その他の説明については、本編の【取扱説明書】をご覧ください。

サービスと保証について

◆ 認定番号

安全鑑定の農機型式名及び番号が必要な場合は、下記の型式名及び番号をご使用ください。

農機型式名	販売型式名	安全鑑定番号
TA10	TA1050-E	申請中

安全に作業するために

本セルスタータ仕様は、リコイルスタータ仕様と取扱い要領が一部異なりますので、必ずこの【取扱説明書】をよく読み理解した上で安全作業をしてください。

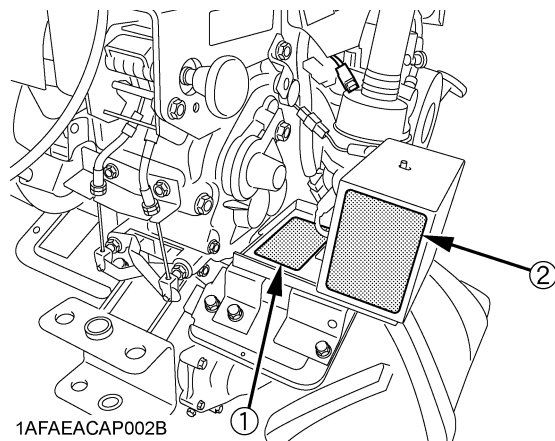
■ バッテリーを点検するとき

バッテリーは充電中引火性ガスを発生し爆発の危険性がありますので、タバコをすったり火気を近づけないでください。



1AKACAIAP3970

■ 表示ラベルと貼付位置



1AFAEACAP002B

① 品番 KF135-4711-1

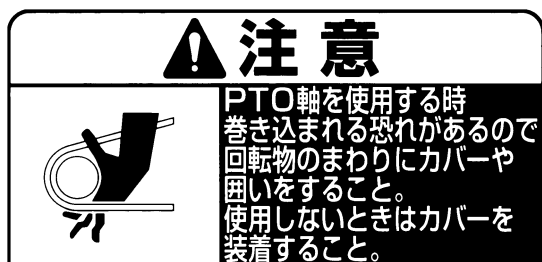
⚠ 警告

ロータ装着時後進禁止
ハンドルがはね上がり
回転するツメに巻き
込まれる恐れがある
ので後進に変速しない
こと。

回転するツメに巻き
込まれる恐れがあるので
回転部に近づかないこと。

傷害事故防止のため
積み降りし
は場の出入りの際は
◆ 操向クラッチレバー
を切らないこと。
◆ 主クラッチレバーを
切らないこと。
◆ 変速の操作を
行わないこと。
◆ 上りは前進、下りは
後進で最低速度で
進むこと。

1AFAEACAP006A



傷害事故防止のため取扱説明書を読んで正しい取扱いをし、機械の運転操作、特に主クラッチはすばやく切れるようよく練習し、十分に慣れてから作業すること。

始動するとき

- ◆主クラッチを切り、変速を中立にすること。
- ◆前後左右に人がいないことを確認すること。

運転するとき

- ◆坂道、積み降ろし、ほ場の出入り、畦の乗り越え等では遅い車速で運転し途中で変速しないこと。
- ◆後進時はハンドルがはね上がるので主クラッチがいつでも切れるようハンドルを下げ、遅い車速で後進し、うしろの障害物に注意のこと。
- ◆周囲に人を近づけないこと。

点検・整備するとき

- ◆必ずエンジンをとめ高温部が冷えてから行うこと。

トラレーザ走行はできません。
小型特殊自動車の認定を受けていません。

1AFAEACAP007A

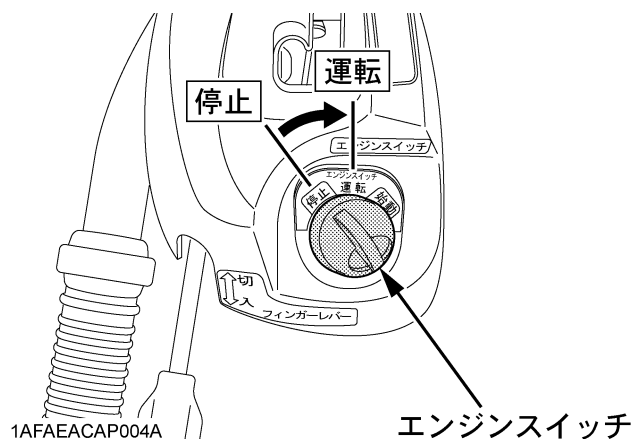
エンジンの始動のしかた

注意

- * マフラの排気出口方向に、燃えやすい物をかないでください。火災が発生する原因となります。
- * リコイルスタータを引張る方向に人がいないか、突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。
- * エンジンの運転中は、危険ですから操作レバー以外の物（マフラなど）には、触れないでください。ヤケドや傷害のおそれがあります。
- * 夜間作業はしないでください。
- * エンジンを始動するときは、主クラッチレバーを必ず【切】にしてください。
- * 主変速レバーを【中立】にしてください。

■リコイル始動のとき

1. 主クラッチレバーを【切】の位置または【駐車ブレーキ】の位置にします。
2. 主変速レバーを【中立】にします。
3. 燃料コックを【ON】（開）にします。
4. チョークレバーを引き【閉】にします。
5. スロットルレバーを【高】にします。
6. エンジンスイッチを【運転】の位置にします。



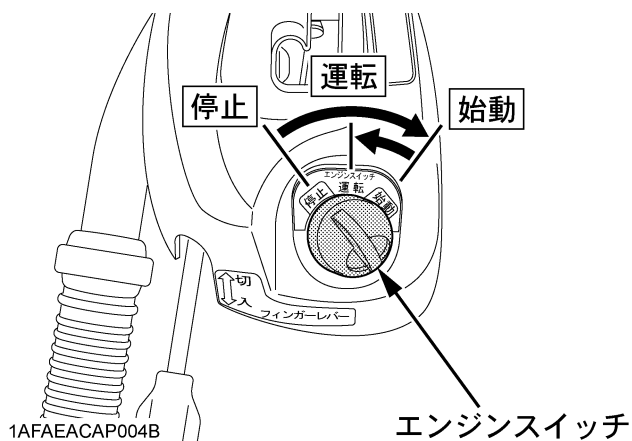
7. リコイルスタータハンドルを握って、引張ります。
エンジンが始動したら、リコイルスタータハンドルを静かに元に戻します。
8. エンジンの運転状態を見ながら、チョークレバーを徐々に【閉】の位置に戻します。
9. 2～3分暖機運転をしてから、作業を始めます。

重 要

- * 運転中はリコイルスタータを引かないでください。
- * 運転中は、エンジンスイッチを【始動】位置にしないでください。

■セルスタータ始動のとき

1. ～ 6. はリコイル始動と同じ手順で行なってください。
7. エンジンスイッチを【始動】位置まで回し、エンジンを始動します。
8. エンジンが始動したところで、エンジンスイッチから手を離してください。
エンジンスイッチは自動的に【運転】位置に戻ります。



9. 2～3分暖機運転をしてから、作業を始めてください。

重 要

- * 10秒間セルモータを回しても始動しない場合は、30秒休んでから再始動してください。
- * エンジン始動後、エンジンスイッチは必ず【運転】の位置にしておいてください。

補 足

- * 主クラッチレバーが【入】の状態ではエンジンを始動することはできません。
- * バッテリーが完全に放電し、セルスタータで始動不能になった場合は、エンジンスイッチを【運転】の位置にし、リコイルスタータで始動してください。

バッテリーの点検

■バッテリーの取付け、取外し

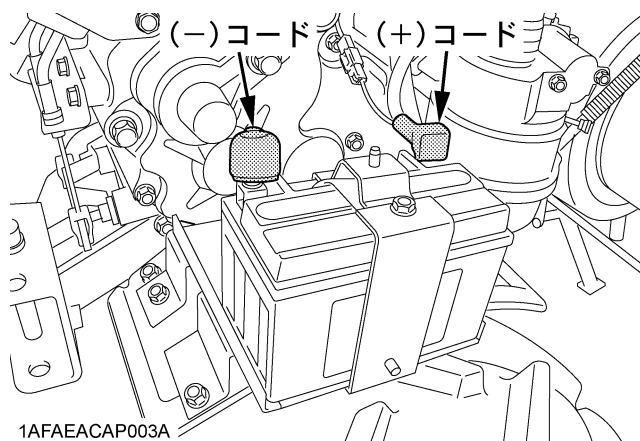


注 意

- * バッテリーを取外すときは、バッテリー（－）コードを最初に外し、次に（＋）コードを外してください。
- * 取付けるときは、必ず（＋）側から取付けます。逆にすると、工具が当たった場合にショートします。

重 要

- * 新品のバッテリーと交換する場合には必ず指定した型式のバッテリーを使用してください。
- * バッテリーを外し、再度取付けるときにはバッテリーの（＋）コードを取付けてから、（－）コードを元どおりに配線し、まわりに接触しないように締付けてください。



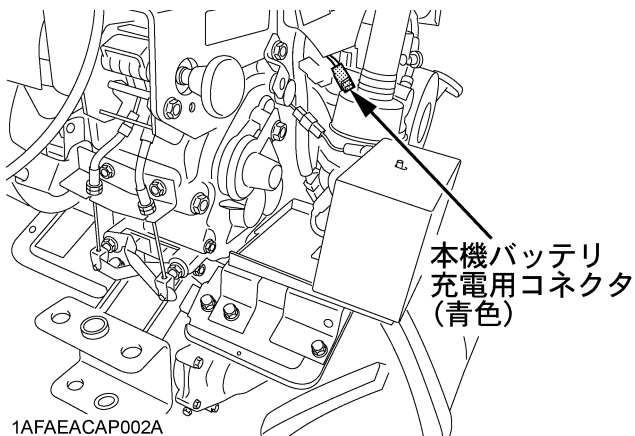
■専用充電器での補充電方法



警告

- * バッテリーの点検及び取外し時にはエンジンを停止し、エンジンスイッチを【停止】にしてください。
- * バッテリーに火気を近づけたり、ショートさせると爆発の危険がありますので注意してください。
- * 一般充電器を改造し、補充電用コネクタに接続しないでください。
火災の恐れがあります。

- 専用充電器（オプション部品）を用いての補充電方法です。
- 専用充電器を用いれば、バッテリーから（+）コードを外すことなく、本機バッテリー充電用コネクタ（青色）に接続するだけで、簡単に充電できます。

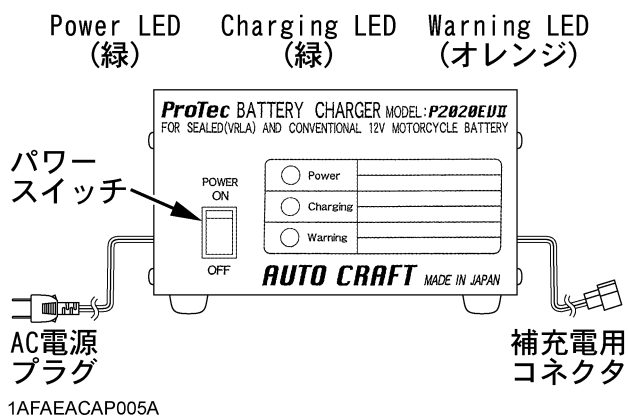


1AFAEACAP002A

専用充電器

品 番	品 名	用 途
KK251-5560-2	充電器アッシ	E 仕様

◆ 部品の名称とモニタ表示



◆ 主な仕様

形式名	P2020EV II	
入力	AC 100 V 50/60 Hz	
出力	電圧	20/15 V
	電流	2.0 A
寸法 (mm)	幅	145
	奥行	176
	高さ	80
質量 (kg)	約 1.5	
コード寸法 (m)	入力側	約 1.5
	出力側	約 1.5
適用バッテリー	FTX9-BS (古河電池)	

(寸法に突起物は含まず)

◆ 使用の前に

1. 必ずパワースイッチが OFF になっていることを確認してから作業を始めてください。
2. 本器は TA1050-E 仕様用 12V バッテリーを全自動で充電することができ、シール形鉛バッテリーに対しても適切な充電特性を持つオートマチックチャージャーです。また放電の程度が深く内部抵抗が大きいバッテリーを高い充電電圧により回復を促進する機能や回復不能バッテリーを異常 LED で表示する機能を持っています。
3. 本器は充電が完了すると自動的に充電を停止するオートストップ機能付ですが、バッテリーの状態によっては自動停止しない (Charging (緑) LED が点滅に移行しない) ことがあります。この場合は下表の目安時間により手動でパワースイッチを切ってください。

充電時間の目安

容量 Ah/5HR	充電時間目安 (約)
2.3 ~ 3	4.5
4 ~ 5	5.5
6 ~ 7	6.5
8 ~ 9	7
10 ~ 11	8
13 ~ 18	11
19 以上	12

※ 20% 充電状態から充電完了 (ほぼ 100% 充電) で自動停止する

◆ 使用方法

1. 機能と動作
充電開始後はモード I で進行し、30 分経過すると自動でモード II に切り替わります。以降はモード II で推移します。
モード I では長時間放置され、通常の充電で回復できない状態のバッテリーを高電圧 (20V) をかけることで回復させることができます。
モード I で充電電圧が 20V 以上 (回復不能バッテリー) になるか補充電用コネクタの接続不良があると Warning (オレンジ) LED が点灯します。
モード II で充電電流が 0.6A 以下になると Charging (緑) LED が点滅し、80% 以上充電状態になったことを示します。
その後、約 3 時間で消灯し、自動で充電を停止します。
補充電用コネクタを短絡させた場合、過電流保護回路により回路は保護されます。

2. 使用方法

- (1) TA1050-E 用バッテリーは密閉形バッテリーです。密封栓は絶対に外さないでください。
- (2) パワースイッチが OFF になっていることを確認し、補充電用コネクタを本機バッテリー充電用コネクタ (青色) に接続してください。
- (3) 電源プラグをコンセントに差し込んだ後、パワースイッチを ON にしてください。Power (赤) LED と Charging (緑) LED が点灯し充電を始めます。
モード I の状態で高い充電電圧 (20V/2.0A) による充電が行なわれます。
注) Warning (オレンジ) LED が点灯の場合
1) まず充電クリップが正常に接続されているか確認してください。
2) 正しく接続されていた場合、バッテリーが放電状態での放置時間が長いいため劣化したり、電解液不足による故障などが想定されます。この場合充電しても回復できませんので新品バッテリーと交換が必要となります。
- (4) 充電が進み約 30 分経過すると、内蔵タイマーにより出力がモード I からモード II に切り替わり、通常の充電電圧 (15V/2.0A) となります。
- (5) バッテリーの充電状態が 80% 位になると Charging (緑) LED が点滅し始め内蔵タイマーが作動します。車両に取りつけても実用上問題はありません。
- (6) 充電モニタが点滅を始めて約 3 時間で Charging (緑) LED が消灯し自動で充電を停止します。この時ほぼ満充電状態です。
- (7) 充電を終了する場合は必ずパワースイッチを OFF にした後、補充電用コネクタを取り外してください。

3. 動作表示 LED と状態

赤 LED	緑 LED	オレンジ LED	充電器の状態
消灯	消灯	消灯	充電器停止
点灯	点灯	消灯	充電中
点灯	点滅	消灯	約 80% 充電状態（タイマー動作中）
点灯	消灯	消灯	充電完了
点灯	消灯	点灯	バッテリーへの接続不良 充電電圧 20V 以上（バッテリー不良）

◆ 異常時の点検方法

症 状	原 因	処 置
Power（赤）LED が点灯しない	- 電源がきていない - 電源プラグが外れている	電源を確かめ電源プラグをしっかりと差し込んでください
充電目安時間を超えても Charging（緑）LED が点滅しない	- 過放電バッテリーです - 不具合バッテリーです	充電時間の目安は 80% 放電の場合です Charging（緑）LED が点滅しない場合はバッテリー不良です
充電開始直後に Warning（オレンジ）LED が点灯する	・ 補充充電用コネクタが正しく接続されていません	補充充電用コネクタを正しく接続してください
	・ 不具合バッテリーです	充電を継続しても容量回復ができません 新品バッテリー交換をおすすめします

◆ 専用充電器以外での補充電方法

1. バッテリーからコードを取外すときは必ず（－）側から外してください。（＋）側から外すと、工具などが接触したときにショートすることがあります）
2. 充電はバッテリーの（＋）を充電器の（＋）に、バッテリーの（－）を充電器の（－）に接続して行ないます。充電器はユアサ MB2012 のご使用をお奨め致します。充電器の取扱説明書をよく読んで行なってください。
3. 端子電圧を測定し充電状態を確認して、下表の要領で補充電を行なってください。

端子電圧	充電状態	充電方式		
		MB2012 使用	小型充電器使用 * 1	エンジンの運転 * 2
12.65V 以上	100 ～ 80%	補充電不要	補充電不要	補充電不要
12.65 ～ 12.3V	80 ～ 55%	充電中の表示 ライト消灯まで	2.5 ～ 6 時間	1.3 ～ 3 時間
12.3 ～ 12.0V	55 ～ 20%		6 ～ 10 時間	3 ～ 5 時間
12.0V 未満	20 ～ 0%		10 ～ 12 時間	5 ～ 6 時間

重 要

* 1 小型充電器を用いて充電する場合、下記充電電流を厳守してください。

	バッテリー型式	充電電流
TA1050-E	FTX9-BS（古河電池）容量（10HR）8Ah	0.9A

* 2 エンジン最高回転時の充電時間です。
（充電電流……約 1.5A）

◆ 補充電後のバッテリー良否判定

補充電完了後、静止状態で 60 分以上経過後、端子電圧を測定してバッテリーの良否を判定してください。

端子電圧	バッテリー良否判定
12.65V 以上	良好
12.65 ～ 12.0V	再充電（2 回まで）
12.0V 未満	不良（バッテリー交換）

重 要

- * 一般の容量の大きい充電器は絶対使用しないでください。
- * バッテリーの充電は、必ず本機から取外して行なってください。
取付けたままで充電すると電装品、配線などを傷めることがあります。
- * MF バッテリーの密閉栓は絶対外さないでください。
バッテリーは完全密封式ですからバッテリー液の点検、補水は不要です。
- * 端子の締付けは確実にしてください。また、端子が錆びないようにグリースを塗布しておいてください。
- * バッテリーを再度取付けるときは、バッテリーの（+）コードを取付けてから、（-）コードを元どおり配線し、まわりに接触しないように締付けてください。
- * バッテリーの（+）側には、ゴムブーツを必ず取付けてください。

◆ 保存中の管理

バッテリーは保存中でも自己放電しますから、夏は 2 ヶ月に 1 度、冬は 3 ヶ月に 1 度、3 時間程度の実作業をするか、同等の空運転を行なうか、又は専用充電器を使用して充電してください。



注 意

- * 充電中、タバコなど火気を近づけないでください。
- * 充電は屋内の風通しが良く直射日光の当たらない場所で行なってください。
周囲温度 0 ～ 40℃ の範囲内で使用ください。
- * チャージャーの通気孔はふさがないでください。
- * バッテリーとチャージャーを接続したり外したりする時は、必ずチャージャーの出力スイッチを [OFF] の位置で行なってください。
又、充電用コネクタは短絡（ショート）させないでください。
- * チャージャーは、ガソリン、シンナーなど揮発性可燃物の近くで使用しないでください。
- * 長時間充電を行なう場合でも 3 日以内としてください。
- * このチャージャーの交流入力は 100V です。指定外の電源電圧で使用しないでください。
- * 湿度の高い場所、雨、雪など水分のかかる場所では使用しないでください。
漏電、感電および本器の故障の原因となることがあります。
- * ヒューズ切れが発生したら、原因を取除いてから同一定格のヒューズに取替えてください。定格以外のヒューズを使用すると、充電器の過熱、発火の原因となります。
- * 充電器本体や電源コード、出力コードの接続部に、他の金属類を差込んだり接続しないでください。感電、発熱および発火の原因となります。
- * 木くず、可燃性オイルなど可燃物の近くで使用しないでください。火災の原因となる場合があります。
- * 異常や不具合が生じた場合、使用者による修理はしないでください。
- * 塩害や塵塵、化学性ガス、振動を受けやすい場所で使用したり、保管しないでください。
- * コード類を無理に曲げたり、上に物を載せないでください。また、芯線の腐蝕、切り欠などによる露出がないか確認してください。
- * 使用しない時は、電源コードはコンセントから抜いておいてください。また、コードを引張らずプラグを持って抜いてください。
- * 本器を分解したり、改造したりしないでください。

電気配線及びヒューズ



注 意

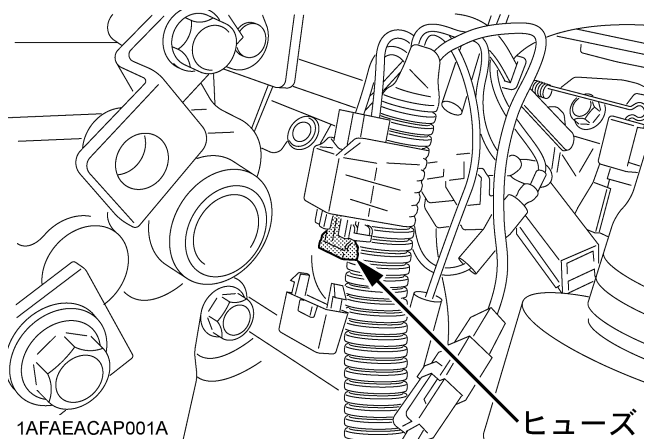
- * ワイヤハーネス及びバッテリー (+) コードが損傷していると、火災の恐れがあるので必ず点検してください。
- * バッテリー、配線及びマフラやエンジン周辺部にワラクス、ゴミや燃料の付着などがあると、火災の原因となるので毎日作業前に点検してください。

ワイヤハーネス、バッテリー (+) コードの被覆は各部の角に接触して損傷したり、自然劣化することがありますので、下記の項目を点検してください。

1. ワイヤハーネスの損傷及びクランプのゆるみがないこと。
2. ターミナル、ブロック (ソケット) の接続部のゆるみがないこと。
3. 各スイッチが確実に作動すること。

■ヒューズの交換

1. ハンドルカバーを外します。
2. ワイヤハーネス部のヒューズホルダ内のヒューズを交換してください。
(規定ヒューズ：20A)



重 要

- * ヒューズを交換してもすぐ切れてしまう場合は、針金や銀紙などを使用せず、購入先で点検を受けてください。

主要諸元表

販売型式名		TA1050-EL2W
機体寸法	全長	1750
	全幅	655
	全高	1330
機体質量 (重量)		(kg) 127.5
エンジン	型式名	GR280-E-TKS-L
	種類	空冷4サイクル傾斜型 OHV ガソリンエンジン
	総排気量 (L {cc})	0.274 {274}
	連続定格出力 (kW {PS})/rpm	5.3 {7.2} / 1800
	最大出力 (kW {PS})	7.4 {10.0}
	使用燃料	自動車用レギュラガソリン
	燃料タンク容量 (L)	4.8
走行部	始動方式	セルスタータ式 (リコイルスタータ併用)
	車輪	19 × 7.50-8 (広幅)
	輪距	320 ~ 520
	主クラッチ方式	ベルトテンション式
	操向クラッチ方式	爪式
	変速段数	ハンドル正位置 (段) 前進 6・後進 1
		ハンドル逆位置 (段) 前進 2・後進 3
	走行速度	ハンドル正位置 (km/h) 前進 0.8 ~ 8.1 後進 0.8
		ハンドル逆位置 (km/h) 前進 0.8, 4.5 後進 0.8, 1.1, 1.4
	車軸の形状・寸法 (mm)	六角対辺 31
	ホイールチューブの形状・寸法 (mm)	六角 (内対辺 31, 外対辺 44)
PTO回転速度 (rpm)		922